
令和6年 第7回（臨時）津 和 野 町 議 会 会 議 録（第1日）

令和6年8月20日（火曜日）

議事日程（第1号）

令和6年8月20日 午前9時00分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 町長提出第89号議案 令和6年度津和野町一般会計補正予算（第4号）

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 町長提出第89号議案 令和6年度津和野町一般会計補正予算（第4号）

出席議員（11名）

1 番 道信 俊昭君

2 番 大江 梨君

4 番 米澤 宥文君

5 番 横山 元志君

6 番 沖田 守君

7 番 御手洗 剛君

8 番 三浦 英治君

9 番 田中海太郎君

10番 寺戸 昌子君

11番 川田 剛君

12番 草田 吉丸君

欠席議員（なし）

欠 員（1名）

事務局出席職員職氏名

局長 倉木 正行君

説明のため出席した者の職氏名

町長	下森 博之君	副町長	島田 賢司君
教育長	岩本 要二君	総務財政課長	益井 仁志君
税務住民課長	中田 紀子君			
つわの暮らし推進課長				宮内 秀和君
健康福祉課長	土井 泰一君	医療対策課長	清水 浩志君
農林課長	山下 泰三君	商工観光課長	堀 重樹君
環境生活課長	野田 裕一君	建設課長	安村 義夫君
教育次長	山本 博之君	会計管理者	小藤 信行君

午前9時00分開会

○議長（草田 吉丸君） 皆さん、おはようございます。

今年は、例年になく猛暑の夏であった気がします。皆様、体調に異常がなければよいがと思っています。昨日は久しぶりに雨も降りました。少し秋の気配を感じるようになった今日この頃であります。甲子園では、夏の高校野球の熱戦が繰り返されております。明日は、いよいよ準決勝が行われます。昨日の準々決勝では、大社高校は敗れましたが、強豪、神村学園と最後まで諦めないすばらしい試合展開であったと思います。

特に、ベスト8をかけた大社高校、早稲田実業高校との試合は、手に汗握る大接戦となり、強豪相手に一步もひるむことなく延長さよならで勝利をしました。あの大観衆の中で、よくもあんなすばらしいプレーができるものだと感心の連続でありました。山陰、島根県民はもちろん、全国の人に勇気と感動を与えてくれたすばらしい試合であったと思います。両チームの健闘に心から拍手を送りたいと思います。負けても大社高校野球部は公立高校全ての希望の光である、そのような声も聞かれました。まさに、そのとおりだと思います。我が津和野高校野球部も力をつけています。ぜひ甲子園目指して、頑張ってもらいたいと思います。

本日、令和6年第7回津和野町議会臨時会が招集されましたところ、皆様方にはおそろいでお出かけをいただきまして、ありがとうございます。

ただいまの出席議員数は11名であります。定足数に達しておりますので、令和6年第7回臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（草田 吉丸君） 日程第1、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、5番、横山元志議員、6番、沖田守議員を指名いたします。

日程第2. 会期の決定

○議長（草田 吉丸君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 御異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日限りと決定をいたしました。

ここで日程第3、議案第89号の議題に入る前に、津和野伝統的建造物群保存地区防災事業について執行部からの説明を受けるため、全員協議会を開催したいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 御異議なしと認めます。

暫時休憩いたします。

午前9時04分休憩

.....
〔全員協議会〕

.....

午前 9 時 50 分再開

○議長（草田 吉丸君） 休憩前に引き続き、臨時会を再開いたします。

日程第 3. 議案第 89 号

○議長（草田 吉丸君） 日程第 3、議案第 89 号令和 6 年度津和野町一般会計補正予算（第 4 号）を議題とします。

執行部より提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（下森 博之君） それでは、議案第 89 号でございますが、令和 6 年度津和野町一般会計補正予算（第 4 号）についてでございます。

歳入歳出予算の総額をそれぞれ 9 億 4 千 8 万 3,000 円とするものでございます。

詳細につきましては、担当課長から御説明を申し上げます。

○議長（草田 吉丸君） 総務財政課長。

○総務財政課長（益井 仁志君） それでは、議案第 89 号令和 6 年度津和野町一般会計補正予算（第 4 号）について御説明申し上げます。

歳出を御説明いたしますので 6 ページを、タブレットでは 5 ページをお開きください。

教育費の伝統的建造物群保存事業費では、公有財産購入費として、伝建防災施設用地及び建物の購入に伴う用地等購入費 3,200 万円を計上、補償、補填及び賠償金として、伝建防災施設賃貸借移転補償に伴う補償金 390 万円を計上、これらの財源として、過疎対策事業債 2,020 万円を充当しています。

なお、歳入につきましては、国庫支出金 1,480 万 2,000 円、県支出金 213 万 5,000 円、過疎対策事業債 2,020 万円をそれぞれ予備費から伝統的建造物群保存事業費に充当を変更しております。

以上でございます。

○議長（草田 吉丸君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） ないようですので質疑を終結します。

これより討論に入ります。まず、原案に反対者の発言を許します。横山議員。

○議員（５番 横山 元志君） 反対の立場で討論をさせていただきます。

7月の臨時会で、最終最後に議長が不十分という言葉が使われました。私、この不十分という言葉が、あの臨時会のときしっくりきました。これは全てにおいて不十分だから今は、というところで議長の最後のお話を聞いておりました。

今、じゃあ、充分になったのかと言われれば、何と言いますか全てがこう、ぼんやりしとるというか、ビジョンが全く見えてこない。この避難される収容人数にしても50人から100人と、ものすごく幅があつてみたり、あと、管理運営についても町並み保存会の皆さんがされるということではありますが、毎日なのか、土日だけなのか、そしてどのように運営していくのかということも、ぼんやりして、何をもってこの事業をしたいんだ、ゴールは建てるのがゴールになっておるんじゃないか、これを造って、その後のことをあんまり考えてないように感じられると考えるので、私は反対とさせていただきます。

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。川田議員。

○議員（11番 川田 剛君） 賛成の立場で討論させていただきます。

昨年の10月の全員協議会から今日の説明もほぼ一貫してこの建物を建てるということでした。反対討論の中で、ビジョンが見えないということでしたけれども、私ははっきりしておりまして、これまで平成30年度に、この計画が立てられて、令和2年から令和4年度にアンケート調査、地域住民の方を巻き込んで、いろんな取組をした中で、この地域に何が不足しているかというところで、備蓄倉庫それから防火水槽、避難所といったものが必要であると、そういったところからこの平成30年度に計画されたものがどんどん具現化してきたというふうに私は理解しています。

当然、この密集している地域に、防火水槽や建物というのが、1か所だけというのであれば、これは大変、場所を選んだほうがいいというふうに思いますけれども、そうではなくて、いろんなところに避難所を造ることによって、防災の災害の備えができると思います。

実際、平成25年災のとき、あれは水害でしたけれども、私当時、津和野の今の、津和野2分団ですか、活動していましたが、橋北地域には拠点施設はありません。拠点施設は今の消防津和野分遣所のみでした。

そこに、あの橋を渡って、8月の末の豪雨のときもそうでした。あの橋を渡って、分遣所で待機、近くの町田の川がすぐにでも氾濫しそうな状況の中で、あの分遣所で待機をして、もし氾濫したらあの橋を渡って橋北に戻っていかなければいけない。そういうところからを考えると、橋北地区の防災の拠点施設、こういったものが整備されるかこれから検討することになると思いますけれども、そういったところも含めて、充分整備をしていただきたいという期待を持っております。

一方で、今回、減額予算ということで、規模が縮小されるということですが、この防災施設の機能として、それが縮小されることがあってはならないと思いますので、その辺はしっかりと執行部の皆様には留意をしていただいて、先ほどの全員協議会の中でも、総務課、教育委員会の連携という御指摘もありましたが、これまでもされてきたとは思いますが、今後そういった指摘がないよう、しっかりと防災の拠点施設ができるよう期待を申し上げて、賛成の討論とさせていただきます。

以上です。

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。米澤議員。

○議員（4番 米澤 宕文君） 前回は申し上げましたが、この土地は必要であります。今、いろんな施設の話は聞きましたが、防火水槽など完全に私は地下埋設と思っておりましたが、地上型、こんな便利の悪いというか、また風景的にもよろしくないことも今、説明を受けました。

これはまた、今後の課題としていろんな検討ができると思いますが、この土地の整備だけは、ツタが絡んだ倉庫、そして旅館棟、とても観光津和野にふさわしい風景ではありません。

施設を造る、造らないに限らず、この風景の整備といいますか、そういうことは必要だと思いますので、土地の取得だけは賛成いたします。

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。大江議員。

○議員（２番 大江 梨君） 賛成の立場から討論いたします。

私は本事業を通じて、この伝建地区の防災機能を高めることであつたりとか、伝統的な町並みが保存されること、これは本当に望むところではあつたんですけども、やはり前回の臨時会の際に、今回のその議案とは直接は関係なかったかもしれないんですけども、やはり今後のその建物ができた後、それがどういったもので、どういったふうに運営されるのかというところ、そこに、非常に心配を感じまして、その点がやはり主な理由で反対したわけだったんですけども、まだまだ今回の答弁ですごく前進した、充分というわけではなかったとは思いますが、前回から今回までのところで、少し考えていただけたのかなというふうには感じています。

ただ、今後、住民の方であつたりとか、津和野を訪れる方にとって本当に有益な施設にしていくためには、更に協議を重ねていく必要があるというふうには感じていますし、あと、私が今回のこの一連の６月議会から今回までの臨時会でも通じて思っていることなんですけれど、何と言いますか、議論のタイミングっていうんでしょうか、それは今後、考えていくことです、であつたりとか、基本設計ができてから考えますとか、何というかそういう話が多いなというふうに思っていて、議論の進め方というのは、そういうものだと言われればそういうものなのかもしれないんですけども、私の感覚としては、それは初めにあって、それを基に話を進めていかないと、難しいんじゃないかなと思うことがあってですね、何と言いましようか、その基本設計ができてからでは遅い、前回の質疑であつたりですとか、ほかの議員もやっている質疑であつたりとか、今回の質疑、これがもっと本来は、私達の責任でもあると思うんですけど、去年の最初に提案していただいた１０月でしたかね、全員協議会のときにでも、もっともっと本当はこういった質疑をこちらから投げかけなければいけなかったのではないかなと、その点は非常に反省をしておりますので、私自身も今後に生かしていきたいと思っています。

以上です。

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。田中議員。

○議員（９番 田中海太郎君） 私も７月に反対いたしました。今回、賛成の立場で見ますが、これは賛成の理由としましては、実は２億６，０００万が２億３，０００万になったからではありません。

あれからいろいろ進めてほしいと言う方とやめてほしいという方の地元の皆さんの意見をいろいろ聞きました。その中で、共通した考えとして、唯一出てきたのは、やはり今、あの対青館を何とかしてほしいという意見でした。これをやっぱり何とかしなきゃいけないという気持ちは根底にあります。

ただ、この進め方についていろいろ疑問がまだ残ってはいますし、今後また、この施設に関しましては、多分、今後出てくるので、そのときにいろいろ議論したいと思います。

ただ、今回のこの購入について賛成します。ただし、一つお願いしたいのですが、この購入費というのは決まっています。だけど、やはり、この土地の地権者の方は、購入されているいろいろされてきたとは思いますが、やはり住民感情としては、この金額で、この状態で何で買うのかという声が大きいです。

この住民感情というのは、無視できないことだと思います。だからやはりある程度は住民の気持ちを酌むためにも、今後、地権者の方とも話を進めながら、いかに地権者の方も努力されて、また、その状態で手渡せるようなそういうお話をしていただきたいと願ってます。

以上です。

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 討論なしと認めます。

これより議案第８９号を採決します。本案を原案のとおり決することに賛成の方は

1のボタンを、反対の方は2のボタンを押してください。

念のため申し上げます。押しボタン式による表決において、所定の時間内にボタンを押されなかった場合は、申合せ事項により棄権と見なすことになっております。

各自、自分が選択したボタンのライトが点灯しているか確認をしてください。

〔賛成・反対ボタンにより表決〕

○議長（草田 吉丸君） 押し忘れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（草田 吉丸君） 押し忘れなしと認め、採決を締め切ります。賛成多数であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

賛成（7名）

大江 梨君	米澤 宏文君
御手洗 剛君	三浦 英治君
田中海太郎君	寺戸 昌子君
川田 剛君	

反対（3名）

道信 俊昭君	横山 元志君
沖田 守君	

○議長（草田 吉丸君） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。令和6年第7回津和野町議会臨時会を閉会します。

午前10時05分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

年 月 日

議 長

署名議員

署名議員